

日本子ども家庭福祉学会通信

第33号

2016年3月発行

Japanese Society of Child and Family Welfare

No.33

第17回 日本子ども家庭福祉学会 全国大会開催のお知らせ

テーマ：子ども・子育て支援の今を問う
—新制度の到達点と課題—

大会長 金子 恵美
(日本社会事業大学教授)

会員のみなさまには益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

2016年に開催される「第17回日本子ども家庭福祉学会全国大会」についてお知らせいたします。

今回は、大会テーマを「子ども・子育て支援の今を問う—新制度の到達点と課題—」と題して、2015年からスタートしたすべての子どもとその家族を対象とする子ども・子育て支援制度をとりあげ、子ども家庭福祉学の立場から、その進捗状況と今後の課題を探ることを趣旨とした全国大会を開催いたします。

また、これに先立ち、特別企画として、ソーシャルインパクトボンドに関するシンポジウムを設定いたしました。

大会第2日目には、各分科会における自由研究発表と課題セッションを企画しております。この詳細については、大会ホームページで随時、ご案内いたします。多くの学会員によるご発表と活発な論議が期待されます。

第17回東京大会として、多彩な企画をご用意いたしました。多くの皆さまのご参加、ご発表を心よりお

待ち申し上げます。

第17回日本子ども家庭福祉学会全国大会
実行委員会一同

記

1. 日 時：2016年6月4日（土）～5日（日）
2. 会 場：日本社会事業大学（東京都清瀬市竹丘3-1-30）

3. 大会テーマ：子ども・子育て支援の今を問う
—新制度の到達点と課題—

4. 大会スケジュール（予定）
第1日目 6月4日（土）
10:00- 受付開始

10:30-12:30 第17回大会特別企画（公開）
『社会的養護におけるソーシャルインパクトボンド（SIB）の可能性』—養子縁組事業に関する先駆的取り組みから—

13:00-13:30 総会
13:50-14:10 開会

14:00-17:10 第17回大会シンポジウム（公開）
テーマ：『子ども・子育て支援のいまを問う』
—新制度の到達点と課題—

17:30-19:00 懇親会

- 第2日目 6月5日（日）
8:40- 受付

- 9:00-12:00 課題セッション分科会「自由研究発表」
 12:00-13:00 休憩
 13:00-16:00 分科会「自由研究発表」

5. 参加費

	大会参加費		懇親会費	
	事前入金 (5/9まで)	当日支払い	事前入金 (5/9まで)	当日支払い
会員	4,000円	5,000円	6,000円	6,000円
非会員	5,000円	6,000円	6,000円	6,000円
大学院生	4,000円	5,000円	6,000円	6,000円
学部生	無料(学生証提示)		3,000円	3,000円

※シンポジウムのみ的一般参加については、当日1,000円で受付します。

6. 学会参加申込方法

大会参加申し込みは3月14日(月)から受け付けます。
<http://www.jsfcw2016.info/par>よりお申し込み下さい。

- ・事前入金は、(参加申込みを行った後)5月9日(月)までにお振り込みください。5月9日(月)までのお振り込みが確認されない場合は、当日申し込み扱いといたします。振り込み先はホームページでご確認ください。
- ・振り込み手数料は、ご負担願います。また参加費および懇親会費を振り込まれた後は、返金できません。ご請求書の発行は、原則いたしませんのでご了承ください。

7. 自由研究発表申込方法

自由研究発表を希望される方は、<http://www.jsfcw2016.info/ent>より、お申し込み下さい。

〈大会事務局〉

大会長 金子恵美
 事務局長 有村大士

〒204-8555 東京都清瀬市竹丘3-1-30
 日本社会事業大学

連絡先：e-mail : info@jsfcw2016.info

大会ホームページ：<http://www.jsfcw2016.info>

演題公募アドレス：<http://www.jsfcw2016.info/ent>

学会参加 : <http://www.jsfcw2016.info/par>

平成27年度 第2回 理事会報告

平成27年12月6日(日)、平成27年度第2回理事会が立正大学にて開催されました。議題と決定の内容は以下の通りです。

出席者：大竹、西郷、金子、増田、前橋、小林、武藤、山本(真)

欠席者：栗原、山本(恒)、川崎、網野(敬称略)

〈協議事項〉

1. 入会審査の件

入会審査対象者は13名でした。昨年度の理事会にて決定されました非会員の推薦者については、会長及び副会長の承認により入会が認められるようになり、すべて承認されました。

2. 学会紀要投稿の件

編集委員長より、論文投稿に際して、所属を明記しない投稿を次号(16号)に行いたいとのことで、そのような状態での投稿は可能かどうかとの問い合わせがあったとの報告があり、協議されました。

所属を明らかにしない状態での投稿を希望する理由として、児童相談所に勤務している中で収集されたデータを用いた研究を行っており、所属を明らかにした場合、使用するデータから個人が特定される危惧があるためとのことでありました。

協議の結果、児童相談所関係のデータは、行政データ及び個人データとしての公表許可を得る必要があること、また事情により匿名を希望する投稿論文について、学会内に研究倫理委員会を創設し、そこでの協議がなされる体制を作ることの必要が指摘されました。結果の詳細は、下記の通りです。

(1) 次号(16号)への投稿についての扱い

現段階では、学会内に研究倫理委員会がないため、倫理審査をすることができず、所属を明らかにしない投稿は受理できない。

(2) 今後の対応について

○所属を明らかにしない投稿は受け付けない。

- 基本的に投稿論文は、倫理審査を受けることを前提とする。
- 勤務先ではなく、「研究会」を所属としての論文投稿の可能性を探る（児童相談所の研究は学会としても貴重であるとの認識から）。
- 17号以降、この審議を受けた検討を編集委員会で行い、規程の見直しも検討する。

3. 企画委員の創設について

前回理事会において、理事の中から特別企画を運営する担当者を決定し、定期的に学会主催の企画を実施する体制を構築していくことが出されたことを受けての検討がなされました。予算としては、学会活動活性化費として計上されている20万円を充てることが決定され、今年度は、武藤理事と栗原理事が企画担当理事として決定されました。

毎年、3月発行の通信において、第一報を掲載し、6月の全国大会では詳細を掲載したチラシの配布を行うことになりました。また、毎年6月に開催される理事会にて、翌年の担当理事を決定することになりました。

4. 特別企画の件

特別企画は、通常の全国大会ではあまり取り上げることがない国際的な視点からの子ども家庭福祉に関する情報や動向や、子ども家庭福祉の臨床、実践の現場における現代的課題の共有を図れるテーマ等を取り上げる等の検討していく予定です。

2016年度の詳細につきましては、「新たな子ども家庭福祉のあり方を考える」と題したシンポジウムを企画中です。厚生労働省の「新たな子ども家庭福祉のあり方に関する専門委員会」の委員メンバーを含めたシンポジストによる討論会を予定しております。

詳細については、メーリングリスト及び全国大会での発表によりますので、宜しくお願い致します。

5. 平成28年度 総会及び第1回理事会の日程(案)

平成28(2016)年6月4日(土) 10時 理事会
13時 総会

6. 学会紀要の編集状況についての報告

10本の投稿のうち、5本掲載予定

入退会者

2015/11/1～2016/2/29までの新入会員

会員名	所属機関名
奥田 晃久	東京都江東児童相談所
前田 実	千葉県富浦学園
濱口 佳和	筑波大学
柏 まり	就実大学
野村 明洋	東久留米市立上の原さくら保育園
三好 真人	目白大学
渡邊 瑞穂	日本社会事業大学大学院
千賀 則史	愛知県立愛知学園
藤津 加奈子	日本福祉大学大学院
根本 順子	園田学園女子大学
今井 大二郎	学校法人敬心学園日本児童教育専門学校
赤木 拓人	神奈川県立保健福祉大学大学院
内田 宏明	

2015年11月1日～2016年2月29日までの退会者なし

〈編集後記〉

- ・内容に関してご意見等がございましたら、メールにてよろしくお願ひいたします。
- ・学会費のお振り込みがお済みでない方は、速やかにお振り込みをお願いいたします。
- ・学会の入会承認が年2回になりましたので、全国大会での発表をお考えの方々にはご注意ください。
- ・理事会報告でもお知らせ致しましたが、学会通信の個別郵送を中止することになりましたので、メーリングリストへの登録をお済みでない会員の方々には、登録をお願い致します。

(Y)

日本子ども家庭福祉学会通信 第33号

発行日 2016年3月25日
 発行人 網野 武博
 編集人 山本 真実
 発行 日本子ども家庭福祉学会事務局
 〒162-0801
 東京都新宿区山吹町 358-5
 アカデミーセンター
 Tel: 03-5937-5716 Fax: 03-3368-2822
 e-mail jscfw-post@bunken.co.jp